



最新切抜きトピックス

ひな祭りのあれこれ

ひな祭りの季節がやってきました。皆さん、ひな祭りをご存じですか？ もちろんご存知ですよ。しかし、意外に知らないことも多いのではないのでしょうか。

ひな祭りとは？

一般的にひな祭りとは、「男雛」と「女雛」を中心とする人形を飾り、桃の花を飾って、白酒や寿司などの飲食を楽しむ節句祭りのことです。具体的にいつごろから始まった行事なのでしょう？ 諸説ありますが、歴史的にははっきりしていません。平安時代の京都で既に平安貴族の子女の遊びな「遊びごと」として行われていた記録が現存しています。もともと「ひな」というのは、女子が人形遊びなどに使ったもので、平安時代には立ちびなだったものが、室町以降座りびなとなり、近世中期以後に今のようないびき雛人形が作られるようになりました。「桃の節句」はもともと春先に農作業をはじめるにあたり、物忌み、禊などを行い穢れを払う行事であり、人形はもともとこの汚れをうつして川などに流す「形代」として使用されていました。従って、特に女子の祭りというわけではなく、男女が共に参加した行事だったんですね。一方、「端午の節句」はもともと田植えを前に稲作の吉凶を占う行事であり、そのため、田の神(女性)との関わりが深かった。その後女子の「人形遊び」と節物の「節句の儀式」と結びつき、全国に広まっていったようです。

雛人形とは？

雛人形は子どもの身代わりとなり、事故や病気から守ってくれ、子どもの健やかで幸せな成長を祝うために飾るとされています。姉妹がいる場合、子どもの災厄を身代りの雛人形は、本来ならば兼用を避け、それぞれ別のものを飾らなければならないとされていますが、近年の住宅事情では難しいですね。地域によっては妹に市松人形を贈る習慣もあるそうです。

「雛人形」は、宮内の殿上人の装束(平安装束)を模しています。親王(男雛、女雛)はそれぞれ天皇、皇后をあらわし、官女(三人官女)は宮中に仕える女官をあらわす(内1人のみお歯黒、眉無し)。五人囃子は能のお囃子を奏でる5人の楽人をあらわし、それぞれ「太鼓」「大鼓」「小鼓」「笛」「謠(扇を持っている)」です。隨身(ずいじん)の人形は随臣右大臣と左大臣と同時に衛士(えじ)でもあり、仕丁は従者をあらわし、通常3人1組でとえています。

ちなみに、「雛人形の片付けが遅れるとお嫁に行くのが遅くなる」という話は、いつまでも雛人形を飾っておくと梅雨も近づき、カビの心配もあることから「片付けも満足にできないようではきちんとした女性になれない、良いお嫁さんになれない」という戒めのためと言われております。そもそも、雛人形は子どもの災厄を身代わりとなって守ってくれるため、長い間身近においておかないで早くしまわなければ縁起が悪いということが、本来の由来のようです。

ひな祭りの食べ物

ひな祭りの食事といえば、何と言ってももちろん**寿司**ですね。ちらし寿司の具のエビは「長生き」、レンコンは「見通しがきく」、豆は「健康でまめに働ける」とされる縁起物です。**ハマグリ**や、**サザエ**などの貝類はペアになっていることから、良縁の象徴とされ、**ひし餅**の三色は、赤は「桃」白は「雪」緑は「草」を表しており、3月という季節の情緒を表現しています。**ひなあられ**は、野外でひな遊びを楽しむときに持って行くための携帯食料が由来のようです。また**白酒**は、昔、大蛇を宿してしまった女性が三月三日に白酒を飲んだら胎内の大蛇を流産させることができたとの言い伝えから、胎内に悪い子が宿らないようにと飲むのだそうです。やはり、それぞれ意味があるのですね。

ちなみに、関東と関西では、ひなあられが違います。関東では、米粒大で甘いもの。米を爆(は)ぜて作ったポン菓子に砂糖などで味付けしたものです。直径1センチ程度の大きさがあり、しょう油や塩味など。餅からできており、いわゆるあられです。

そういえば、最近段飾りの雛人形をめっきり見なくなった気がします。住宅事情もあるのでしょうけど、こういった伝統行事に関心が薄くなっている気がします。調べれば深い意味がある物、大切に守っていききたいものです。